

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	高規格ICアクセス 一般国道394号 榎林バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	青森県	
起終点	自:青森県上北郡七戸町鉢森平 至:青森県上北郡七戸町附田向			延長	3.1 km		
事業概要							
一般国道394号は、むつ市から上北郡七戸町を経由し弘前市に至る道路であり、本事業は、上北自動車道七戸ICとの連結による農畜産物の県内外への輸送時間短縮と品質を確保するための物流ネットワークの強化及びバイパス整備による現道の隘路区間の解消を目的とし、七戸町鉢森平～附田向までの延長3.1kmを整備するものである。							
H21年度事業化		都市計画決定なし		H24年度用地着手		H24年度工事着手	
全体事業費		約64億円		事業進捗率		約77%	
計画交通量		2,800～4,100台/日		供用済延長		1.5km	
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 16 / 79億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 95 / 95億円		基準年
	1.2	4.1%	事業費: 12 / 75億円		走行時間短縮便益: 75 / 75億円		令和7年
	2.0 [2%]		維持管理費: 3.9 / 3.9億円		走行経費減少便益: 17 / 17億円		
	2.6 [1%]		更新費: - / - 億円		交通事故減少便益: 2.9 / 2.9億円		
	(残事業)	(残事業)	感度分析 (事業全体)		感度分析 (残事業)		
6.1	17.2%	交通量	B/C=1.1～1.4(±10%)	交通量	B/C=5.5～6.8(±10%)		
7.9 [2%]		事業費	B/C=1.2～1.2(±10%)	事業費	B/C=5.6～6.5(±10%)		
9.1 [1%]		事業期間	B/C=1.2～1.2(±20%)	事業期間	B/C=6.0～6.1(±20%)		
事業の効果等							
<ul style="list-style-type: none"> 上北自動車道七戸 IC との連結により、物流ネットワークが強化され、効率的で安定した輸送が可能となり、県内外への輸送時間短縮と鮮度・品質の確保に貢献することが期待される。 七戸 IC との連結により、中核市である青森市、八戸市とのネットワークが整備され、防災機能の改善が図られる。 バイパスへ交通転換するため、現道の交通安全性の向上が期待される。 							
関係する地方公共団体等の意見							
国道394号整備促進期成同盟会から早期完成の要望を受けている。							
事業評価監視委員会の意見							
対応方針(原案)は妥当である。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
<p>平成25年3月に上北道路が供用開始。</p> <p>平成31年3月に上北天間林道路が供用開始。</p> <p>令和4年11月に天間林道路が供用開始。</p>							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
用地進捗率約99%、事業進捗率約77%							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。							

施設の構造や工法の変更等

埋蔵文化財調査に想定以上の調査期間を要し調査経費の増加、物価高騰に伴う事業費の見直し等により全体事業費の見直しを実施。

コスト縮減としては、現道擦り付け部の延長短縮のため設計見直しを実施。

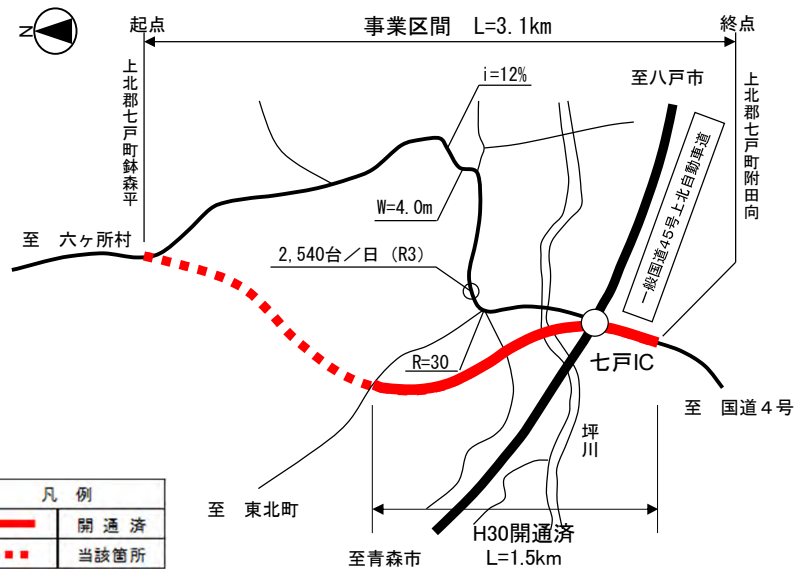
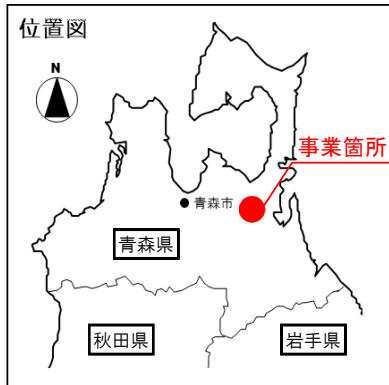
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)